



# ハチクサン<sup>®</sup> FL

//// シロアリ防除剤

土壌処理剤

医薬用外劇物

## 約170万件<sup>\*</sup>におよぶ使用実績

20年以上にわたり、ハチクサンFLはヤマトシロアリ、イエシロアリの被害から、日本の住宅を守り続けています。 <sup>\*</sup>バイエル調査による

## VOC対策シロアリ防除剤

室内濃度指針値およびTVOC暫定目標値に該当する物質は使用しておりません。より安全に配慮したシロアリ防除剤です。

長年にわたる信頼と実績  
シロアリ防除剤の  
スタンダード



## ハチクサンFLの特長

- // ドミノ効果による確かな効き目で、信頼性の高いシロアリ防除剤
- // 居住者、ペット、植栽、建築資材に対し安全性の高い薬剤
- // 臭いの不快感はなく、施工後の室内においても薬剤成分が検出されない
- // 耐アルカリ性に優れ、コンクリート上への使用が可能
- // 文化財虫菌害防除薬剤として認定されている

### ハチクサンFLの試験成績

#### 1 室内および床下の気中濃度

台所、和室、洋室などの室内において、イミダクロプリドは散布中から散布399日後まで検出されなかった。

一方、床下ではイミダクロプリドは散布中のみ0.0006mg/m<sup>3</sup>が検出されたが、散布直後から散布399日後までは検出されなかった。

表：各サンプリングの場所におけるイミダクロプリド(ハチクサンの有効成分)の検出値

	処置直前	散布中 <sup>1</sup>	散布後 <sup>2</sup>	3時間後	6時間後	1日後	5日後	399日後
和室床上	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
和室点検口床下	ND	0.0006	ND	ND	ND	ND	ND	ND
台所床上	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
台所点検床下	ND	0.0006	ND	ND	ND	ND	ND	ND
洋間床上	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
換気口	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND

ND：検出せず

\*1 散布中の検出限界：0.0005mg/ℓ

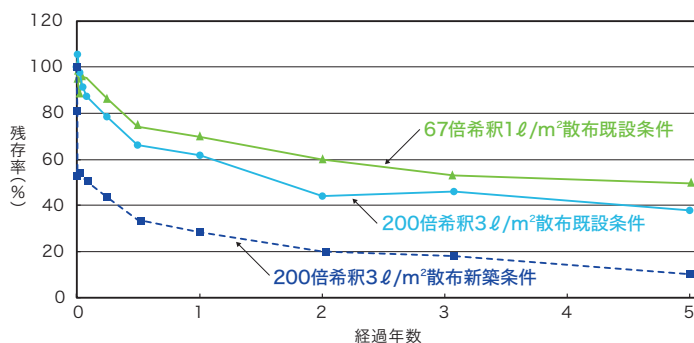
\*2 散布直後以降の検出限界：0.0008mg/ℓ

#### 2 コンクリート上における安定性

既設条件(中性化処理したモルタル試験皿上)では、初期の半年でイミダクロプリド<sup>®</sup>は約70%まで減少した。しかしそれ以降の分解は遅くなり、5年後に約40%残存した。また、高濃度少量散布(67倍希釈1ℓ/m<sup>2</sup>)の方が安定性が高かった。

新築条件(中性化処理なし)においては、初期の半年で40%を下回ったものの、その後分解が遅くなり、5年後にも防蟻効果が期待できる約10%残存した。

床下に設置したモルタル試験皿中のイミダクロプリド残存率



床下に設置したモルタル試験皿の様子

## ハチクサンFLについて

### // シロアリ防除専用土壌処理剤

商品名：「ハチクサン<sup>®</sup>FL」(医薬外用劇物)

### // 用法・用量

本剤はよく振り混ぜてから、右記の希釈表に従い、水で所定の倍率に希釈し、散布してください。希釈液は使用の都度、十分攪拌し、その日のうちに使用してください。(公社)日本しるあり対策協会編・防除施工標準仕様書に従って使用してください。

### // 成分・含量

イミダクロプリド…20% 水、界面活性剤等…80%

#### 床下がコンクリート打設面の場合

	散布量 (ℓ/m <sup>2</sup> )	希釈倍率	説明
面状散布	1ℓ	67	ハチクサンFL1kgを水66ℓに希釈する
	3ℓ	200	ハチクサンFL1kgを水199ℓに希釈する
帯状散布	1.7ℓ	67	ハチクサンFL1kgを水66ℓに希釈する
	5ℓ	200	ハチクサンFL1kgを水199ℓに希釈する

#### 土壌処理の場合

	散布量 (ℓ/m <sup>2</sup> )	希釈倍率	説明
面状散布	3ℓ	200	ハチクサンFL1kgを水199ℓに希釈する
帯状散布	5ℓ		